

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	堺市文化振興財団事業補助				事業番号	008-035	
担当部署名	文化観光局	局	文化国際部	部	文化課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(4)文化芸術の振興・国際交流の強化
			有	取組の方向性	②「堺アーツカウンシル」などを活用した文化芸術の振興		
		寄与するKPI	有・無	指標名	文化施設の利用者数		
			有	現状値	1,049,822人(2019年度)	目標値	1,500,000人(2025年度)
	堺市SDGs未来都市計画2021-2025	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット	8.9
			有	取組	茶の湯や地域の祭り、文化財などの歴史文化の保全・魅力発信		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画	第2期堺文化芸術推進計画		
3	事業開始年度	平成 6 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠	文化芸術基本法、自由都市堺文化芸術まちづくり条例		

事業の概要

5	事業の実施主体	公益財団法人 堺市文化振興財団					
6	事業の対象	市民、市内外の文化芸術等に興味のある方				対象数	単位
						-	-
7	事業の目的	市民が身近に文化芸術に触れることのできる環境が創出され、生活に潤いや心の豊かさを感じ、こどもの感性が磨かれ、個性豊かな文化的魅力に満ち、内外の人々が賑わうまちにする。					
8	事業内容	（公財）堺市文化振興財団が実施する以下の事業に対する補助 ・将来の文化の担い手や鑑賞者を育成するためのこどもたちへの文化芸術の普及事業 ・障害や経済状況等の何らかの事情により文化芸術に触れる機会が少ない人を対象とした文化芸術の体験・鑑賞事業 ・次代を担う新進芸術家の育成、支援事業 ・堺独自の歴史・文化資源を活用することで、内外の人々が堺に魅力と愛着が感じられる事業 ・鑑賞型ホール事業					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—					
9	主な支出先	公益財団法人 堺市文化振興財団					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	1年間に文化芸術を鑑賞した又は文化芸術活動を行った人の割合	%	目標値	—	—	50.8	60
			実績値	—	48.5		
			達成率	—	—		
	当該指標を選定した理由	すべての人が身近な地域で様々なジャンルの文化芸術活動に触れる機会を創出できているかを把握するのに適した指標であるため。（これまででは定性的な成果目標を設定していたが、令和8年度より当該指標へ変更）					
	目標値の設定根拠・算出方法	市民意識調査の過去の実績に基づき算出					
12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	堺市文化振興財団主催事業（さかいミーツアート、アートスタートプログラム）のこどもの体験人数	人	目標値	—	—	2,700	
			実績値	—	—		
			達成率	—	—		
	当該指標を選定した理由	令和8年度から推進している第3期堺文化芸術推進計画の重点的方向性において「乳幼児を含むこどもたちや保護者が文化芸術から遠ざかることなく、身近な場所で文化芸術に親しむことができるよう、アウトリーチやインリーチ等の機会を充実し、文化芸術に触れる場を広げる」としているため。（令和8年度より当該指標へ変更）					
	目標値の設定根拠・算出方法	堺市文化振興財団が主催する事業（さかいミーツアート、アートスタートプログラム）のこどもの体験人数					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	堺市文化振興財団事業補助	事業番号	008-035
-------	--------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	109,723	76,202	92,488	72,869	80,344
	財源内 国支出金	0	0	0	0	0
	財源内 府支出金	0	0	0	0	0
	財源内 市債	0	0	0	0	0
	財源内 その他（ ）	0	0	0	0	0
	財源内 受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	財源内 一般財源	109,723	76,202	92,488	72,869	80,344
14	人件費（b）	2,430	2,430	2,520	2,520	2,610
15	年間経費（c）=(a)+(b)	112,153	78,632	95,008	75,389	82,954

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	決算				R7	決算		
16	事業費内訳	文化芸術振興事業	R7 決算	72,869	72,869		R7	決算		
			R8 予算	80,344	80,344		R8	予算		
			R7 決算				R7	決算		
			R8 予算				R8	予算		
			R7 決算				R7	決算		
			R8 予算				R8	予算		
			R7 決算				R7	決算		
			R8 予算				R8	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和6年度	令和7年度
17	① 堺市文化振興財団が行う文化芸術事業の入場者数	人	8,230	8,113
	② 上記①にかかる年間経費	千円	76,202	72,869
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	9,259	8,982
	算出についての説明等			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	限られた経費の中で、未来の文化芸術を担うこどもたちや、障害、家庭環境等の事情により文化芸術に触れることが難しい市民に対するアウトリーチ事業、若手アーティストの発掘・育成事業など、幅広い事業を継続的に実施することができた。結果として、前年度と比較して単位当たり経費は抑制されており、一定の費用対効果が認められる。 （社会包摂型事業の実施本数を活動指標として掲げていた前年度の達成状況は、目標値25本に対して、実績値は28本）
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	・フェニーチェ堺や西文化会館等で堺市民芸術祭を開催するなど文化施設の利用者数増加にも一定寄与することができた。 ・（公財）堺市文化振興財団の事業については、アートマネジメントに関する専門性やネットワークなどを活かし、芸術家、堺市社会福祉協議会や堺アーツカウンシルといった様々な主体と連携しながら、こどもや障害者、家庭環境等の何らかの事情で文化芸術に触れることが難しい市民に対してのアウトリーチ事業を実施する等、公益性の高い事業に注力した。また、昨年に引き続き堺アーツカウンシルとの共催で文化施設の企画担当者等向けに社会包摂型ワークショップ実践研修を実施し、文化施設における企画力向上を図った。これらの事業については「市民が身近に文化芸術に触れることのできる環境」の構築及び「第2期堺文化芸術推進計画」に掲げる重点的施策「文化芸術を通じた社会的課題の解決」に寄与するものである。
----	---

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	こどもや障害者等、これまで文化芸術に触れる機会が限られていた層へのアウトリーチ事業や、若手アーティストの育成、質の高いホール事業などを実施し、幅広い文化芸術施策の展開に寄与した。一方で、事業によっては求められているニーズにアプローチできていない等の課題も見えた。今後はターゲット層に応じた事業展開や事業の見直し、事務の効率化等により、事業効果の向上を図る必要がある。
	有効性	■ 高い □ 低い	